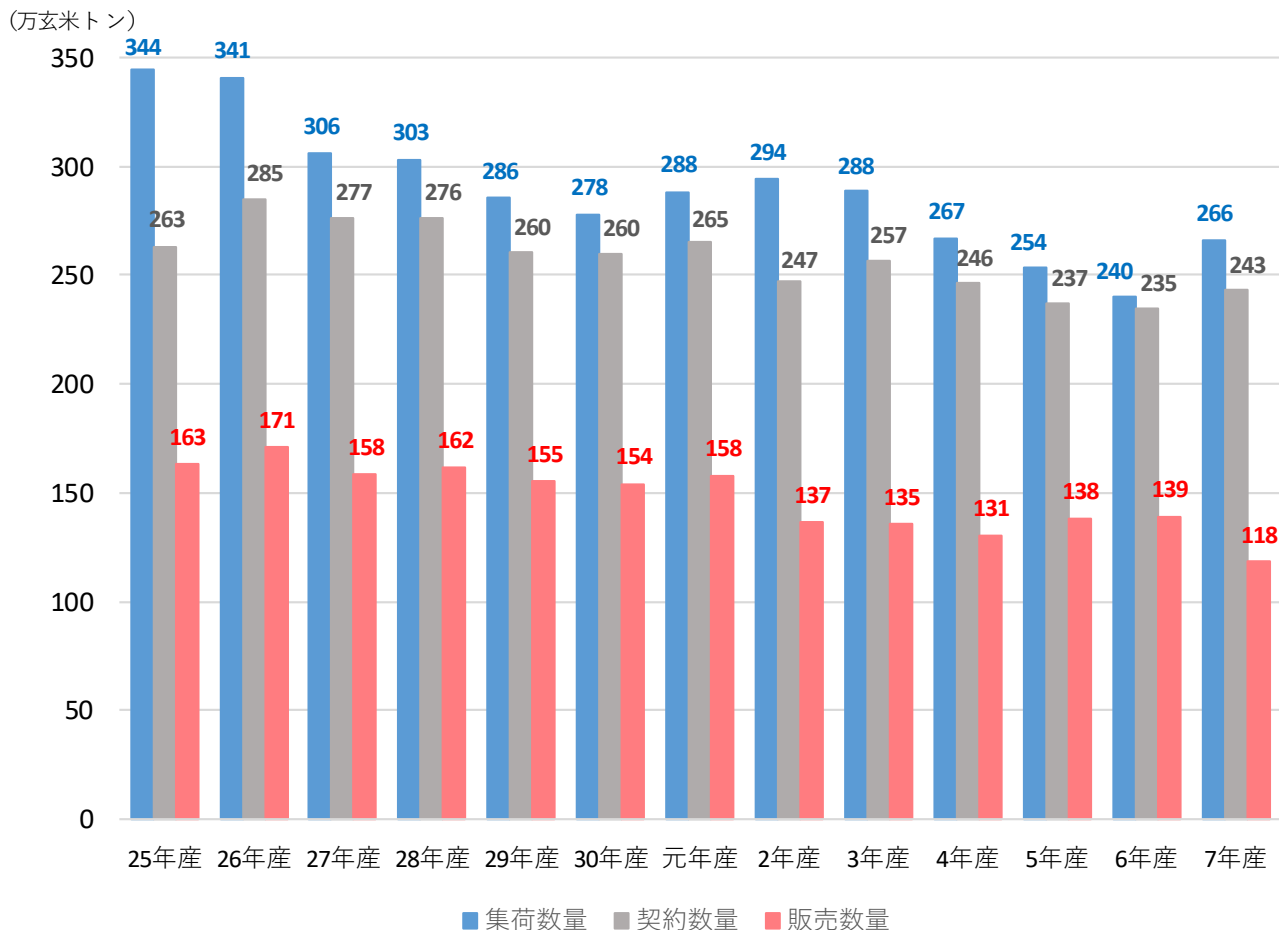


集荷業者の米の集荷・契約・販売状況の推移

○ 令和7年産米について、集荷業者の令和8年4月末現在の集荷数量は266.0万玄米トン(対前年同月+25.6万玄米トン)、契約数量は242.9万玄米トン(対前年同月+8.1万玄米トン)、販売数量は118.1万玄米トン(対前年同月▲21.0万玄米トン)。

○ 集荷・契約・販売状況 (出回りから生産年の翌年4月末までの累計)

(単位: 万玄米トン)



年産	年月	集荷数量	契約数量	販売数量
25年産	26年4月末	344.2	263.2	163.1
26年産	27年4月末	340.9	284.8	170.7
27年産	28年4月末	305.8	276.5	158.3
28年産	29年4月末	303.2	276.2	161.7
29年産	30年4月末	285.5	260.4	155.4
30年産	31年4月末	277.9	259.8	154.1
元年産	2年4月末	288.3	265.4	157.9
2年産	3年4月末	294.3	246.8	136.5
3年産	4年4月末	288.4	256.8	135.4
4年産	5年4月末	266.9	246.2	130.6
5年産	6年4月末	253.6	236.9	138.1
6年産	7年4月末	240.4	234.8	139.1
7年産	8年4月末	266.0	242.9	118.1
	前年差 (前年比)	+25.6 (111%)	+8.1 (103%)	▲21.0 (85%)

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 本調査は、平成25年産米の平成26年2月末現在より調査開始。

2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

3 報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

6 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。